

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年 12月 15日 (木)
タイトル	第17回那須野が原ウォーク2022
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野恵美子

令和4年11月20日(日)「第17回那須野が原ウォーク2022」が栃木県那須塩原市において開催されました。水土里ネット那須野ヶ原では、21世紀土地改良区創造運動の一環として共催団体と共にウォーキングの計画・実施をしております。2017年に『世界かんがい施設遺産』に登録された那須疏水と2018年に『日本遺産』に認定された「那須野が原開拓の歴史」を感じ、周辺に生息する植物を観察しながら散策します。また、解説員と共に土地改良施設などを巡る約6.5km3時間程度のコースです。3年ぶりの開催



疏水沿いをウォーキング



見学デッキにて

となる今回は、コロナウイルス感染症対策を講じて募集人数の制限、時間短縮のために開会式の簡素化を行い、規模を縮小し開催しました。過年度では100名を超えるほどの参加者でしたが、今年是一般参加者59名、スタッフ26名の合計85名で行われました。

前日までの天気予報では、曇りのち雨と心配の予報でしたが、当日は、曇天の合間から青空が垣間見られる天気でホッとしました。例年どおり3班に分かれ、紅葉の中、ウォークがスタートしました。今年のコースはいつもと逆回りのコースとした。当連合はコロナウイルス感染対策の一環として、班には同行せずポイントでの説明

を行いました。ポイントは3箇所。1つ目は、世界かんがい施設遺産に登録された、日本三大疏水の一つである『那須疏水』上にある見学デッキにて歴史や農業用水路の概要などを説明しました。2つ目は、水管理センター前にある陶板に描かれた那須野ヶ原の概要図を基に、国営事業の全体像や分水についての説明。3つ目は、赤田調整池の前で調整池の役割を説明しました。参加者の皆様方は、熱心に説明を聞き、興味を示されていました。この那須野が原ウォークの開催は、地域の方や様々な方に土地改良の歴史や施設の機能などを始めとする多面的機能や水土里ネット那須野ヶ原の取り組みなど、農業・農村に対する理解を深めることができるイベントです。次年度以降もコロナウイルス感染症対策を講じながら、この取り組みが少しでも多くの人々に伝わるよう、関係団体と連携し那須野が原ウォークを継続していきたいと思っております。

